

# 葛尾村の伝統を後世に



(有)ふるさとのおふくろフーズ 代表

まつもと ひさこ  
**松本 富子**さん(葛尾村)

<プロフィール>

村の伝統食の凍み餅を多くの人に知ってもらおうと、平成2年に農家の主婦6人で会社を設立。原発事故で生産を中止していたが、2月15日から製造を再開した。

File No.18

## 手間ひまかけた 伝統の保存食

松本さんは、葛尾村で江戸時代から作られてきた凍み餅を作り続けてきた一人です。



葛尾村の伝統食・凍み餅

「今は生活が豊かになって家庭で作られることも少なくなりましたが、元々凍み餅は、命をつなぐための大切な保存食。この伝統食をなんとか後世に伝えたい。村の自慢の食材で作りを続けてきた凍み餅を、自宅用だけではなくみんなに食べてもらいたい。そう思って、地域のお母さんたちと協力して、当時使われなくなっていた倉庫をリフォームし、加工場を作ったんです。食品加工の知識がなかったので、資格をとって、厳しい検査を受けたりと、苦労もありました。だから、販売できるようになったときはとてもうれしかったです。お客さまから『食べ方がわからなくて、お湯を入れたらベタベタになった』と連絡があつてからは、食べ方の説明も商品に表記するようにしました。凍み餅は必ず水で戻さない」と駄目なんです」

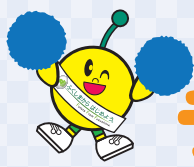
## 苦渋の決断 「凍み餅」の廃棄処分

震災当時は苦労の連続でした。

「午前の出荷を終えて休憩していたら、ものすごい揺れがあつてみんな這つて外に出ました。雪がたくさん降つた日でした。私も急いで家に戻って、ひ孫たちをおんぶして安全なところに避難したんです。とにかく家族や工場みんなの安否が心配で、気が気ではありませんでした。全村避難になって避難所を8回ぐらいつまみましたが、その間、工場に保管した凍み餅のことで頭がいっぱいでした。震災の年は8,800連(1連12枚)の凍み餅を製造しましたが、工場の電源は切つていましたし汚染の問題もあつたので、4トントラック1台分の凍み餅を廃棄したんです。涙が止まりませんでした。でも、必ず村に戻って、またみんな凍み餅を作りたいと強く思い続けていました」



震災当時の様子を語る松本さん



ぼくの // わたしの //

# チャレンジ「自慢」

県内の頑張っている児童・生徒の活動を応援します！

## 湖南民話の会 民話塾 郡山市立湖南小学校(郡山市)



湖南町には210以上の民話が残っています。これらを絶やすことのないよう次世代に語り継いでいきたい。そして民話を通して地域をもっと好きになってもらいたいと活動中です。



### 発表力と表現力が向上

湖南町では、12年前から全校生が1話ずつ話せるようにと学校で民話の語りに取り組んでいます。その中で、もっと民話を覚えたいという子どもたちが、月2回集まり学んでいるのが「民話塾」です。民話塾は平成27年5月から始まり、現在は児童12名で活動。発表時は、おばあちゃんが来ていた着物を再利用して作った「ひっぱり」を着用します。方言や民話を覚える楽しさだけでなく、発表力と表現力も身につく、子どもたちの自信につながっているようです。

### 暗記して発表する楽しさ

方言は語り口が難しいけど、暗記してみんなの前で発表するのは楽しいです。家族には「もっと声を大きく！」とアドバイスされます。これからも続けたいです。(亀山 大心さん 4年生)

地元のお祭りで見えて始めました。発表して拍手をもらえると、うれしくてもっと民話を覚えたくくなります。少しでも多く覚えて湖南町を有名にしたいです。(二瓶 萌香さん 5年生)



練り上げたアツアツの餅を手早く取り出す



製造再開を果たした凍み餅のパフレット

## 凍み餅とは

よもぎやごんぼっぱ(山ごぼうの葉。通称:おやまぼくち)を乾燥させて煮たものを餅に混ぜて固め、一枚ずつ紐で編んで凍らせた後、自然乾燥させたもの。長期にわたって保存できるため、昔から貴重な保存食として各家庭で作られてきました。



〈問い合わせ〉  
(有)ふるさとのおふくろフーズ  
☎0240(29)2154  
※再開したばかりのため販売価格と販売場所は未定。まずはお問い合わせください。



待ちに待った凍み餅作り

葛尾村産の「凍み餅」作りを目指して  
松本さんの強い思いと家族の協力で、旧加工場を取り壊し、以前より広い加工場を建設。凍み餅作りが再開しました。

「村でまた凍み餅作りができることを本当に幸せに思います。昔は藁で編んでいたの

を、紙に変えました。どんな小さな不安もあってはいけないと、とても気を使って製造しています。以前、ふたば未来学園高校の生徒から凍み餅を使ったスイーツを作りたいという話を聞いたとき、村自慢の伝統食を若い人たちがつかないでくれることを本当にうれしく思いました。夢は、前のように地元農家と契約して村の材料で凍み餅を作ること。地域の方々とながらること。村がひとつになりますし、一人でも多く村に戻って、未来のためにふるさとを作っていくってほしいです」

ふくしま

ふくしまの旬をピックアップ!

## HOT ニュース

### 全国植樹祭の大会ポスターができました!

平成30年春季に南相馬市で開催予定の第69回全国植樹祭。郡山女子大学付属高等学校の葛西由佳さんの作品がポスター原画に選ばれました。大会テーマ「育てよう 希望の森をいのちの森を」、シンボルマークも決まり、ポスターが完成。県民の皆さま、ともに盛り上げていきましょう。

